

F2-13

ツーリズムを用いた戦後モダニズム建築の保存・活用のあり方に関する研究 —ツアープログラム改善にむけたエコツーリズムとの比較より—

A Study on the Way of Preservation and the Utilization of the Postwar Modernism Architecture Using the Tourism —For improvement of the tour programs with the ecotourism—

○町田拓也¹, 押田佳子², 加藤有紗³, 石田健太¹*Takuya Machida¹, Keiko Oshida², Arisa Kato³, Kenta Ishida¹

Abstract: We investigated the ecotourism to compare with the architecture tourism. Conclusion, it is expected that introducing the eco tour exchanges programs to the architectural tour will evolve into a fulfilling learning programs.

1. 背景および目的—わが国では、未指定の文化財が急速に失われていることをきっかけに、歴史的価値の高い建築や周辺環境を保存・活用するために、文化財保護制度により建築の保存が推進されている。しかし、近代建築、中でも「戦後モダニズム」は建築としての価値が高いと言われている一方で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの再開等に伴い、取り壊されるなど保存・活用が行われにくい現状がある。海外では、モダニズム建築を保存・活用するための手法として建築を観光資源化した建築ツアーが有効であるとの報告があり、近年推奨されているコンテンツツーリズムにおけるコンテンツとしての保存・活用が期待されている^[1]。一方で、わが国における建築ツアー自体の歴史は浅く、対象者が一部の建築ファンに留まっており、多様な参加者に対応できるツアープログラムの構築には至っていない。そこで本研究では、ニューツーリズムの中でも先行して取り組まれているエコツーリズム（以下、エコツアー）に着目し、建築ツアープログラムとの比較分析より、建築ツアーの保存・活用に効果的なツアーのあり方を考察する。

2. 研究方法—本研究の調査概要を Table1 に示す。

3. 研究対象—本研究では、建築ツアーについては東京都などでツアーを実施する「東京都建築ツアー」、エコツアーについては、東京都などでツアーを実施する「東京都エコツアー」、比較対象地として郊外地域でツアーを実施する「郊外エコツアー」を対象とした。

Table1 Outline of the survey (調査概要) (This is original table by authors)

①文献調査			
調査概要	モダニズム建築のツアー事例		
調査日時	2018年7月25日~2018年8月24日		
調査内容	・建築ツアーの抽出		
②ツアー調査			
調査団体	東京都建築ツアー	郊外エコツアー	
調査日時	2018年5月13日	2018年8月4日、2018年8月26日	
調査内容	・ツアーのプログラム ・参加者の傾向	・ツアーのプログラム ・参加者の傾向	
③ヒアリング調査			
調査団体	東京都建築ツアー	東京都エコツアー	郊外エコツアー
調査日時	2018年6月6日	2018年9月12日	2018年8月29日
調査内容	・建築ツアーの運営体制	・エコツアーの運営体制	・エコツアーの運営体制

4. 結果および考察

4-1. 建築ツアープログラムの実態—Table2より、

建築ツアー全101件の分析を行なった^{[2][3]}。その結果、平均所要時間は3時間以上5時間未満となっており、平均参加費は3,000円以下、実施頻度は月に4~8回、リピーター率は約5割であった。このように建築ツアーは、実施頻度が高いため慢性的なガイド不足が生じており、大学生を中心としたインターン生の育成を行っているものの、ツアーガイドの活用には至っていない。また、プログラムに着目すると全101件中、内部で滞在する建築を含むツアーは33件であり、中でも個人邸宅と中銀カプセルタワーは内部見学に加え、茶会体験やオーナーとの談話を実施されるため好評を博している。また、「中銀カプセルタワー」「静岡新聞・静岡放送東京支社」「ニュー新橋ビル」の3棟は29件のツアーに組み込まれ、2017年では24回と多用されている。以上より、建築に「触れる」ツアーは空間を実体験し、かつ、主催者・所有者・参加者の交流が生じることより人気が高いことから、保存への意識を高めることができるといえる。一方で、民間のオフィスビルは開館日やセキュリティの関係からツアーでの滞在が難しく、外観の見学に留まっている。以上のように、ガイド不足や対象建築物への立ち入りの関係からモダニズム建築の魅力を伝えきれていない。したがって参加者や主催者が交流しながら保存への意識を共有できるツアープログラムが必要といえる。

4-2. エコツアープログラムの実態

(1) 東京都エコツアーの実態—Table2より、全ツアーの平均所要時間は5時間以上（休憩時間を含む）、平均参加費は6,000円、リピーター率は約1割であり、所要時間・参加費共に上述の建築ツアーを上回っていた。一方、実施頻度は月1~2回と建築ツアーに比べて少ない。この理由は、常勤のガイド人数が1名であり、

1：日大理工・学部・まち、2：日大理工・教員・まち、3：日大理工・院（前）・まち

それ以外は全てアルバイトで賄っていることによる。ツアーの質を下げないためにアルバイトガイドには講習会を実施しているが、不足を補うには至っていない。また、主要プログラムが船を借りるクルーズツアーであるため運営費のほとんどを船のレンタル料で占めることから費用面で赤字になってしまうことが多く、ツアー回数が年々減少傾向にある。

(2) 郊外エコツアーの実態—Table2 より、本稿では、飯能市が取りまとめる複数の団体で実施されたエコツアー、全 117 件の分析を行なった。全ツアーの平均所要時間は 5 時間以上、平均参加費は 3,000 円以上 5,000 円未満、リピーター率は約 4 割であり、建築ツアーに比べ、所要時間・参加費共に上回っている。また、郊外エコツアーの特徴としてツアープログラムに食事を含むものが 9 割以上を占めており、この場を参加者のコミュニケーションや食材紹介の場として活用している。食事時間をプログラムに組み込むことで地元住民や参加者間での交流が生まれ、地元に触れられることからアクセスが難しい立地ながらも好評を博していることが窺える。

5. ツアープログラム改善に向けた比較—以上より、エコツアーが平均所要時間・参加費共に建築ツアーを上回ることがわかった。エコツアーは、1ヶ所にか

ける滞在時間を長くし、かつ食事の時間を組み込むことにより、交流を図りながら地域に触れられるようになっていた。また、都心で行われているエコツアー・建築ツアーに関しては、アクセスが良いことから実施時間が短くなる傾向が見られたが、エコツアーに関しては、クルーズ船などを用いることから運用が厳しいことが窺えた。なお、全 3 ツアーにおいてガイド不足ならびに育成が不十分である傾向が見られた。以上より、一般的にはエコツアーの普及が唱えられているが、あくまでも郊外地においては有効といえるが、都心では見学地やプログラムの問題から困難があることが窺えた。一方で、建築ツアーはエコツアーに比べ、リピーター率が高いことやアクセスの良さから「触れる」プログラムの増加を検討することで、多様な参加者層を見込める学習型ツーリズムになるのではないだろうか。

6. 謝辞

本稿におけるヒアリング調査およびツアー調査実施に際し、東京建築アクセスポイント和田菜穂子氏、飯能市役所 観光・エコツーリズム推進課片野陽介氏、NPO 法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部中林裕貴氏に多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

7. 参考文献

[1]加藤有紗他, ツーリズムを用いたモダニズム建築の保存・活用のあり方に関する研究 [2]AccessPoint:ARCHITECTURE-Tokyo(東京建築アクセスポイント) HP accesspoint.jp, 2018/7/25 [3]エコツーリズムのまち飯能 | 首都圏・埼玉・日帰りエコツアー HP hannu-eco.com/, 2018/8/24

Table2 Outline of the organizations (開催団体の概要)

(This is original table by authors)

ツーリズム	開催都市	開催団体	創業年	移動手段	平均所要時間	平均参加費	遂行人数	実施頻度	見学地	ガイド人数	客層 / リピーター率	実施ツアー数
建築ツアー	東京近郊	東京都建築ツアー	2016	徒歩	3 時間以上 5 時間未満	3,000 円以下	1-5 名	月 4-8 回	1-12 ヶ所	5 名	学生から 60 代 / 約 5 割	101 件
エコツアー	東京近郊	東京都エコツアー	2002	クルーズ	3 時間以上 5 時間未満	6,000 円	10 名	月 1-2 回	1-2 ヶ所	1 名	学生から 60 代 / 約 1 割	117 件
	飯能市	郊外エコツアー	団体ごとに異なる	徒歩	5 時間以上	3,000 円以上 5,000 円未満	5-10 名	団体ごとに異なる	1-3 ヶ所	団体ごとに異なる	学生から 60 代 / 約 4 割	

Table3 Outline of the tours (ツアー概要)

(This is original table by authors)

開催団体	ツアー名	移動手段	観光スタイル	観光対象	実施時間	遂行人数	参加費	食事	立ち寄り地点
東京都建築ツアー	中銀カプセルでメタボリズムを学ぶ	徒歩	建築見学 (一部内部も見学)	ニュー新橋ビル、静岡新聞・静岡放送東京支社、中銀カプセルタワー	2.5 時間	1-5 名	平均 3,000 円	なし	3 ヶ所
	住宅散歩：大田区雪ヶ谷「室伏次郎自邸」他	徒歩	建築見学 (内部見学)	雪谷の家、北嶺町の家、朝吹家、東雪谷の家、八木邸、清家邸、ローゼンハイム雪谷	3 時間	15 名			7 ヶ所
	【平日限定】新橋・銀座レトロビルチング トークツアー Vol.1	徒歩	建築見学 (内部見学なし)	堀商店、ヨネイビル、丸嘉ビル、交詢ビル、第一菅原ビル、和光、教文館・聖書館、奥野ビル、鈴木ビル、岩瀬博美商店ビル、川崎ブランドビルチング	3.5 時間	15 名			12 ヶ所
東京都エコツアー	都心の水辺でエコツアー	クルーズ	川下り	神田川・日本橋川エリア (4 コース) 小名木川エリア (2 コース) 天王洲・芝浦エリア (1 コース)	4 時間	3 名	6,000 円	あり	1 ヶ所
	東京シーサファリ 東京港ぐるっと一周サファリツアー	クルーズ	海上からの東京観光	東京港	2 時間	5 名	30,000 円 (1 隻)		1 ヶ所
	エコジェクト X 東京港を海に戻した男たち	クルーズ	環境学習	東京港周辺 城南島・羽田沖・若洲リンクス・中央防波堤など	3 時間	25 名	大人 3,000 円 子供 1,800 円		1 ヶ所
郊外エコツアー	はじめてのワカサギ釣り in 名栗湖	徒歩	釣り体験	名栗湖	4.75 時間	10 名	4,500 円	あり	1 ヶ所
	飯能で楽しむ山ガール滝と峡谷と展望の棒ノ折登山	徒歩	山登り体験	棒ノ折	7.25 時間	10 名	5,000 円		1 ヶ所
	エコジェクト X 東京港を海に戻した男たち 猟師の奥様に教わるジビエ料理	徒歩	料理体験	飯能在住である猟師のお宅	4.75 時間	5 名	5,000 円		1 ヶ所